

基本目標		意見・提言
1	一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	<p>以前より取り組まれてきた啓発を中心とした活動が主であることもあり、ある程度着実に実行されているようであるが、近年取り組みが強化されたレインボースクールは講演需要に対応が追いついていないので、これまでより講師枠を広げ、是非要望に応えてほしい。また、女性委員なし審議会等の解消・役職における女性割合向上の2事業は進捗が進まず、「参画主体」としての女性増大の壁は、困難が大きいようである。幸い、この2事業は事業主体である「高知市」の事業であるため、女性登用が進まない原因を明らかにし、それらを一ずつ解決する取り組みを令和6年度の夏、今から早速開始する必要があると考える。</p>
		<p>名前の在り方など、人権が日常生活の中で考えるきっかけになることを提案していくことが求められると思います（人権の尊重＝少し抽象的）。</p>
		<p>粘り強い啓発活動などの取組が継続されていると思います。他方で、何か核になる、目立つ企画もほしいところです。帯屋町をSDGS(目標5を当然含む。)推進フラッグで埋め尽くすなど視覚的効果の高いイベントを短期間でも良いので行うとか。それが無理なら市役所庁舎で実施するようなことは考えられないでしょうか。</p>
2	DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	<p>DVやハラスメントを取り上げた事業の報告から社会的要請の強さが感じられ、事業の重要性を痛感します。DVと並び、児童・生徒への人権侵害の深刻さが報道されています。現在の取り組みと併せて、市運営以外の県立・私立等の小中高校等へも被害者とならないような啓発教育が行われ、高知市在住並びに通学者が被害から免れることを願います。</p>
		<p>上記にも示しましたが、性暴力を許さない社会への取り組みは、今後、期待されることだと思えます。</p>
		<p>パワーハラスメントについては労働施策総合推進法における法的な定義が存在し、検討要素が確立しつつあります。職員全員が自他の行為について常にチェックリスト的に検討できるような研修・研鑽を進めていただければと思います。</p>
3	家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	<p>生活支援サービスの充実、市技術職に占める女性割合向上、ひとり親家庭支援等、実現への道のりが険しそうな課題ですが、真面目・果敢な取り組み姿勢は素晴らしいと思います。取組としては比較的新しい分野なので成果が見えてくるのには工夫や時間が必要な場合が多いように思います。粘り強く取り組んでほしいと希望します。</p>
		<p>30番のような、男性の家庭参画への取り組みは、今後の地域社会においても重要なものだと思います。</p>
		<p>国の方針かもしれませんが、男女平等ではなくジェンダー平等という理由は？</p>
		<p>見えない家事、名もなき家事の重要性を男性にも啓発していけると良いと思います。そこを担うことが家事を全うすることであり、家事の主体性を主張できる要素ではないでしょうか。</p>

基本目標		意見・提言
4	地域で、防災で、男女共同参画をすすめましょう	<p>自主防災組織や避難所運営マニュアルで男女比のクォーター制度の検討。現行で難しければ、役職を増やす（班長、副班長）などして意識的に増やす努力をする。（地域防災推進課が旗振り役）。</p> <p>男性・女性、若い世代など多様な参画を実現している組織（地域・防災組織）に重点支援をしていくことも重要。</p>
		<p>スポーツ指導者の育成についての意見です。スポーツ指導員認定更新講習の受講生が対象者の半数に留まったとの報告でした。対策の交流機会やカリキュラム検討に加え、経費の弁償も考慮してはどうかと考えます。正規職についている方はともかく、退職後の指導員等の場合、各種スポーツ競技にすべてボランティアで関わるのは、時間・経費面から厳しいのではないのでしょうか？正規職を退職後、働いている方も多いです。時間・移動・体力等を必要とされるスポーツ指導者の場合、「スポーツの振興」に寄与したいという意思はあってもすべて無償というのは部外者から見て理解に苦しむところです。今までの慣例や予算の都合があるかもしれませんが、市主催の大会等一部にしてもできれば日当、それが無理な場合には交通費、あるいは交通費相当額などを支給すること等、検討されるべきではないのでしょうか？最も、該当する方たちにとってそういうことは関係ないようでしたら、この意見は取り下げます。</p>
		<p>高知は進んでいると言われているので、是非このまま取組を推進していただきたいです。</p>
5	生涯にわたる健康生活を充実させましょう	<p>「生涯学習活動の推進」の中でも中央公民館で行われている「いきいきセカンドライフ講座」について意見を出したいと思えます。高知市は夏の「高知市民の大学」、「春の市民学校」等、多様なニーズに合わせて学ぶ機会を市民に提供しており、その中でも「いきいきセカンドライフ講座」は中高年に的を当てた講座と考えます。私自身、出席したい講座もありましたが、日程が合わず実現はしませんでした。今回、この講座を、より盛んにしたいという思いから要望を述べます。それは以下の通りです。①参加者募集に関する町内会へのチラシ回付の復活、②土日あるいは夜の開講も行ってみる、もしくは講演を録画（生録）し、希望者に見せる（適切十分な講義料徴収）。③参加者が55歳以上となっているが、54歳以下の希望者にも一定の上限内（会場の定員内）等で参加を認める（参加費徴収、適切な上乗せ可）。④ 対象テーマは「高齢者」というイメージにあまりとらわれず、身近な話題、社会問題となっている事柄等、複雑な事柄で個人が調べても簡単にはわからないが、社会で重要な変革や問題を引き起こしている（あるいは引き起こしそうな事柄）も選ぶ、です。次に、②について補足説明をします。現在の開催曜日や時間帯、火曜・金曜の昼1時半～3時では、パート等仕事や通院等で毎回出席できない人も多いのではないのでしょうか、また、昼間の場合、農業・自営業等の人も出席できない場合が多いと思えます。そうした人々も参加出来る時間帯やコロナで広がったオンラインや録画等を利用するなど、時間や移動に制約がある人達にも講座を受けるチャンスがある柔軟な開催方法をぜひ検討してほしいと思えます。</p> <p>次に、スポーツ推進事業についてです。高齢人口が多く、身体のだこかに不具合等を抱えている人も少なくない現代では、スポーツ推進という場合に、従来型の競技スポーツのみでは、参加できる人が限られてしまい、スポーツ本来の良さが損なわれてしまいます。そこで、多くの人々が参加・楽しめる散策・ウォーキングやユニバーサルスポーツが推奨され始めています。高知市でもこうした動向に注目し、従来型の競技スポーツだけでなく、皆が参加できるタイプの散策等やユニバーサルスポーツを楽しめるよう工夫してほしいと希望します。</p>
		<p>女性の健康診断の受診率が低いのでは？</p>
		<p>生理用ナプキンの配布の検討はどうか。</p>

基本目標		意見・提言
*	全体	男女共同参画に意欲的な教員を募り育成。転勤していく中で、多くの種がまかれ、育つきっかけになる。教員の中にジェンダーのエキスパートを育成していく仕組みを模索しては。
		報告は毎年同じような内容で目新しさは感じませんし、劇的に変わることはないので、継続は力なりで、地道に取り組んでいくことが重要だと思いますが、現プランの実行期間も残り1年半です。各項目で目標を達成できるよう、またできなかった言い訳をしなくて済むように、PDCAをしっかり回して頑張りましょう。
		全体的に地道で粘り強い取り組みが進められていることが感じられました。他方で、高知市が男女共同参画を重視している、との強いインパクトを発信し、市民を牽引できるような企画が見えづらいようにも思います。1でも記載しましたが、「高知市は人権尊重推進に力入れてるな!」と皆が思うような企画やイベントをどこかで仕掛けることはできないでしょうか。女性に限らず、マイノリティや人権を尊重されていないと感じている人に対して高知市からの応援が届くようなものがあればと思います。
		女性副市長が就任され、男女共同参画がより強力に進むことを期待しています。